

バイク王 バイクライフ研究所 『リセール・プライス』ランキングを発表 『カワサキ・Z900RS』が2連覇！

対象期間 2018年6月～8月

バイクライフの楽しさやバイク市場の動向を広く社会に発信することを目的に活動を行う『バイク王 バイクライフ研究所』（所在地：東京都港区、所長：澤篤史）は、2018年6月～8月の期間を対象に、『再び売却した際、高値の付くバイク』＝『“リセール・プライス”の高いバイク』上位10車種を発表します。

『“リセール・プライス”の高いバイク』は、需要の高いバイク、つまり『人気のあるバイク』と言い換えることもできます。26回目となる今回は「カワサキ・Z900RS」が2連覇を達成しました。

◇『カワサキ・Z900RS』が
2回連続で首位獲得！

◇Z900RSのバリエーションモデル
『Z900RS CAFE』は2位に！

◇2018年発売のニューモデルが多数ランクイン



◇佐川健太郎氏 インプレッションムービー公開中

『リセール・プライス』ランキングにて、上位10車種にランクインしたモデルを始め、複数の人気車種をモーターサイクルジャーナリストの佐川健太郎氏にインプレッションしていただきました。詳しくはURL (<https://www.8190.jp/bikelifelab/extra/shijou/>) をご覧ください。

※本リリースの調査結果を転載される際は、必ず「バイク王 バイクライフ研究所調べ」とご明記ください。

※本調査結果は、下記のサイトでも公開されております。

・バイク王 バイクライフ研究所ホームページ(<http://www.8190.co.jp/lab/>)

※本プレスリリースに関する画像が必要な際は下記連絡先までご一報ください。

プレスリリースに関するお問い合わせ先

■株式会社バイク王&カンパニー

バイク王 バイクライフ研究所

担当：今井、萩原

TEL 03-6803-8866

E-mail bikelife_lab@8190.co.jp

東京都港区海岸 3-9-15 LOOP-X 13F

■株式会社スクランブル

プランニング局

担当：大橋、岩岡

TEL 03-6894-6895 / FAX 03-5413-3050

E-mail bike-o@scramble.jp

東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

■ 総合ランキング

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Z900RS	90.0Pt
2	カワサキ・Z900RS CAFE	89.0Pt
3	ホンダ・CBR1000RR	87.3Pt
4	ホンダ・クロスカブ 110	85.0Pt
5	ホンダ・PCX	84.9Pt
6	カワサキ・Ninja 250	80.9Pt
7	カワサキ・Ninja 400	79.0Pt
8	ホンダ・CB400 SUPERFOUR	74.6Pt
9	ホンダ・レブル 250 ABS	74.3Pt
10	ヤマハ・トリシティ 155 ABS	73.0Pt

◇対象期間 2018年6月～8月

26回目となる『リセール・プライス』ランキングは、『カワサキ・Z900RS』が2位に1.0pt差を付け首位に輝きました。

前回に引き続き首位に輝いたカワサキ・Z900RSの特徴と、首位獲得の要因については、前回リリース(<https://www.8190.co.jp/news/2018/180702.html>)をご参照ください。

今回のランキングでは、首位に輝いたカワサキ・Z900RSのバリエーションモデルである『カワサキ・Z900RS CAFE』が2位にランクインしました。当モデルはZ900RSをベースとし、ビキニカウルをはじめ、ブラックに塗装されたローポジションハンドル、ショートミラー、ツートーンシートなど各所に専用パーツを装備することで、クラシカルなカフェレーサースタイルに仕立てられています。2018年3月に国内販売が開始された当モデルですが、今回の対象期間では当研究所が規定する流通台数に達したこと、上質な車両が流通していることによりランクインしたものと推察されます。

また、今回のランキングでは、前期間（2018年3月～5月）と比べて上位10車種の平均ポイント数が8.1pt上昇しました。これは、過去3年の同期間比較（下表参照）に比べると格段に高い数値となります。この要因として、今回の上位10車種のうちの過半数が2017年末～2018年3月の間に新発売およびフルモデルチェンジした車種となり、良質な車両が高値傾向で流通していることによるものと考えられます。

過去3年の3～5月、6～8月における上位10車種の平均ポイント数とその差

年	① 3～5月 平均ポイント数	② 6～8月 平均ポイント数	差異 (②-①)
2015	84.9Pt	74.4Pt	-10.4Pt
2016	75.1Pt	75.1Pt	0Pt
2017	75.7Pt	79.6Pt	3.8Pt
2018	73.7Pt	81.8Pt	8.1Pt

これから秋のバイクシーズンを迎え、今後のランキングにどんな変化を及ぼすのか、引き続き『リセール・プライス』ランキングにご注目ください。

■ 排気量別ランキング上位5位

・原付一種・二種

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・クロスカブ 110	85.0Pt
2	ホンダ・PCX	84.9Pt
3	ヤマハ・ビーノ	71.7Pt
4	ホンダ・クロスカブ 50	71.3Pt
5	ホンダ・タクト・ベーシック	69.3Pt

・軽二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Ninja 250	80.9Pt
2	ホンダ・レブル 250 ABS	74.3Pt
3	ヤマハ・トリシティ 155 ABS	73.0Pt
4	スズキ・V-Strom250	71.3Pt
5	ホンダ・CBR250RR	71.0Pt

・中型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Ninja 400	79.0Pt
2	ホンダ・CB400 SUPERFOUR	74.6Pt
3	ホンダ・CB400 SUPERFOUR ABS	70.2Pt
4	ヤマハ・MT-03	66.0Pt
5	ヤマハ・YZR-R3 ABS	62.1Pt

・大型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Z900RS	90.0Pt
2	カワサキ・Z900RS CAFE	89.0Pt
3	ホンダ・CBR1000RR	87.3Pt
4	ヤマハ・XSR700 ABS	72.0Pt
5	ヤマハ・XSR900 ABS	71.6Pt

■ 『リセール・プライス』とは

バイクを再び売却(=リセール)するときの価格(=プライス)を指します。

2018年10月現在、新車で購入が可能なバイクを対象とし、オークションで売却した際の落札金額の平均値と新車販売価格を基に『リセール・プライス』をポイント化。ポイント数が高いほど、『リセール・プライス』が高いと想定できます。

本指標は、年間10万台以上の取り扱い台数を誇る『バイク王』のデータを基に、バイク王 バイクライフ研究所が独自に集計したものであり、バイクユーザーが新車あるいは中古バイクを購入する際の参考情報として活用されることを目的としています。

■ 算定基準

- ・国内主要4メーカーが、国内で販売しているバイク(2018年10月現在・逆輸入車を除く)
- ・新車販売価格は2018年10月現在の価格を基準。カラー等により価格が複数ある場合は、最安値を基準に算定
- ・モデルチェンジが実施された場合は、最新モデルのみを対象とする
- ・期間内に、バイク王 バイクライフ研究所独自の規定台数に達する流通があるバイクを対象とする

【バイク王 バイクライフ研究所について】

バイク王 バイクライフ研究所は、『バイクライフの生涯パートナー』をブランドビジョンに掲げる株式会社バイク王&カンパニーが、バイクライフの楽しさやバイク市場の動向などを広く社会に発信することを目的に、2011年8月に発足した情報発信組織です。

昨今、バイク業界は新車の販売不振や趣味嗜好性の多様化による若年層のバイク離れなど、明るいニュースに乏しい状況が続いています。

バイク王 バイクライフ研究所は、中立的な立場を意識し、専門家やユーザーの方からの意見・データを収集・集積するとともにインタラクティブな情報交換を行い、その結果をユーザーやマスメディアに向け、積極的に発信することで、バイク業界の活性化に寄与していきたいと考えています。

バイク王 バイクライフ研究所



バイク王 バイクライフ研究所
所長 澤篤史